

社会福祉法人華翔会 役員及び非常勤役員等報酬規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人華翔会（以下「当法人」という）定款第8条および第21条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」とする）の報酬等について定めるものとする。

(報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次の通り報酬等を支給する。

(1) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給することとし、賞与及び退職手当は支給しない。

(非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第3条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

(1) 報酬については、別表第1に定める額

(2) 職務のため出張及び会議への出席、法人及び施設業務のための出勤をしたときは、給与及び退職金規程第33条に基づき、旅費（交通費、宿泊費）を支給する。

(当法人職員給与との併給)

第4条 当法人職員を兼務し、職員給与を支給している役員に対しては、本規定に基づく役員報酬等は支給しないものとする。

(報酬等の支給方法)

第5条 常勤役員等に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

(1) 報酬については、毎月28日（支払日が金融機関休日の場合はその前日）とする

2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。

3 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第6条 新たに常勤役員等に就任した者には、その日から報酬を支給する。

2 常勤役員等が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。

3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。

4 本条第2項の規定にかかわらず、常勤役員等が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第7条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、これを1円に切り上げる。

(公表)

第8条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第五十九条の二第三項に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第9条 この規定の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第10条 この規定の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めることとする。

附 則

この規程は、平成17年9月1日より施行する。

附 則

平成19年5月30日から本文第4条第4項を改正施行する。

附 則

平成20年4月1日から本文第4条第4項を改正施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より改正施行する。

附 則

この規程は、平成28年1月1日より改正施行する。

附 則

この規程は、平成29年6月17日より改正施行する。

附 則

この規程は、平成30年6月9日より改正施行する。

附 則

この規定は、令和元年12月21日より改正施行する。

別表1 (非常勤役員等の報酬)

(1) 理事長

	月額
法人及び施設業務のための出勤	350,000円

(2) 評議員

	日額(4h以内)	日額(4h以上)
評議員会への出席	5,000円	10,000円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	5,000円	10,000円
※年額 150,000円まで		

(3) 理事

	日額(4h以内)	日額(4h以上)
理事会等の会議への出席	5,000円	10,000円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	5,000円	10,000円
※年額 4,000,000円まで		

(4) 監事

	日額(4h以内)	日額(4h以上)
理事会等の会議への出席	5,000円	10,000円
監事監査への出席	6,000円	12,000円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	5,000円	10,000円
※年額 3,000,000円まで		